

Shinichiro Seki@UT

■基本方針

ラウンド中の議論によって、論題が肯定された、と判断すれば肯定側に、そうでなければ否定側の勝ちとします。ディベートの枠組みに関する話については、いろいろ自分の考え方を持っていますが、議論次第ではそのラウンド中に限り、スタンスを変更します。

また、ディベーターが触れなかった部分については、もともと自分が持っている常識で補って考えます。とくに、種類の違うメリットやデメリットが出ていて、明確な価値判断の基準がどちらからも示されなかった場合には、私の価値観が介入します。

判定の際には、最後の反駁での議論を重視します。そこで触れられなかった議論については、あきらめたものとみなし、評価を著しく下げます（TopicalityのEvaluationとか、争点になっていない明らかな決まり文句は結構です）。最後まで伸ばされた議論については、必要に応じて途中の経緯も若干考慮する場合があります。

■ディベートの枠組みについて

政策論題の場合は、論題から生まれるプランの1つが、考えられる最善の政策の中に含まれていれば、論題が肯定された、と考えます。メリットとデメリットの大きさが同じ（or どちらも評価できない）場合は、あえてプランを取る意味は無いので、論題が肯定されたとは考えません。逆に、肯定側のプランとCounter Planが差し引き同じ程度のメリットをもたらす場合には、肯定側のプランでも十分「考えられる最善の政策」という条件を満たしているため、論題は肯定されたと考えます。また、立論中であれば、肯定側も途中でプランを変更して構いません。論題の解釈については、常識的に考えて納得できる解釈を肯定側が示していれば、それ以上のものは求めません。

なぜこういうスタンスなのかは、直接聞いて下さい。ただ、理由はおそらく1つではないので全てはお答えできませんし、逆に全てつぶしてもらっても必要ありません。言葉の感覚や、意思決定のプロセスは日常でも無意識・直感で行っている部分が多いので、何でも明確な基準を持っているとは限りません。納得できればちゃんとシフトするので、とりあえず出してみてください。

その他、最近見なれない議論（Counter WarrantとかKritikとか）については、個別に聞いて下さい。なぜ、メリット・デメリットといった議論を無視してまでその議論で勝敗を決めなければならないのか、というところまで証明できれば、きちんと判定に考慮します。

■Contact Me...

関 真一郎 (UTYO Falcons 2003^{註1} Chief)

E-mail : support@misudo.com

Home Page : <http://falcons.misudo.com/>

^{註1} 何を隠そう私は3年生です。同世代の人間にジャッジされるのは不安な方もいるかと思いますが、そういう方はコミに言ってあげてください。ご不明の点は何十時間でも議論につきあうので、どうぞご利用下さい。